

第2回 クラブ国際奉仕委員長会議

地区国際奉仕委員長

栗原 大 (大阪フレンドRC)

日 時：2014年2月8日(土)

場 所：YMCA 2階 会議室

開会挨拶：ガバナー 福家 宏

2013-2014年度 事業報告：地区国際奉仕委員会 委員長 栗原 大

FVPにおける補助金の動向：地区財団補助金小委員会

地区補助金・グローバル補助金担当グループリーダー 四宮孝郎

クラブの国際奉仕について：各IM別バズセッション

2013-2014年度 国際奉仕基金 会計報告：地区国際奉仕委員会 糸川副委員長

講 評：ガバナーエレクト 泉 博朗

閉会の挨拶：国際奉仕部門 顧問 パストガバナー 横山守雄

2月8日に第2回クラブ国際奉仕委員長会議を開催させて頂きました。各クラブの現・次年度国際奉仕委員長総勢130名以上の皆様に出席頂き無事終了する事ができました。心より御礼申し上げます。

今年度はロータリー財団によるFVP初年度でしたが、予想以上のグローバル補助金の申請提出とTRFによる承認数でございます。当地区につきましては日本国内で初めて提唱クラブとして申請が承認され、年度内のプロジェクト完了に進んでいるところです。これは当地区内の国際奉仕活動がいかに活動的かを表しております。また地区補助金につきましても10クラブほど申請されており、次年度はその枠も広がる事から尚一層のプロジェクトが提出されるかと思われま

す。バズセッションでは各クラブの活発な活動についてIMごとに討論されました。IM内の近隣クラブであり

ながら活動内容を知る機会はこのような場面ではないと思われま

す。国際奉仕活動は各奉仕部門の中でも特に労力を有します。個人・クラブの資金・時間・労力が大きくかかる奉仕活動です。また相手国との情報交換も時間がかかり単年度や少人数のクラブではなかなか実行しにくいのが現状です。しかしそのフォローに地区委員会は存在致します。どのようなクラブも国際奉仕活動に積極的な想いをもち続けて頂いている限り私達は協力を惜しみません。クラブ単体で難しい活動はIM内及び第2660地区内クラブとの協力で奉仕活動を成功して頂

ける事を一つの手段としております。原点はクラブ主体となって活動し、そして会員各皆様へプロジェクトの成功の感動を体感して頂くこととであると存じます。

